

# 父母と教職員の共同をひろげ、すべての子どもが大切にされる教育を実現しよう



## 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7-11  
府教育会館704号  
TEL. 06-6765-8904  
FAX 06-6765-8905

### 第36回大阪の障害児教育をよくする会総会

6月9日、第36回大阪の障害児教育をよくする会総会が開催され、会場とオンライン合わせて41人が参加しました。2024年度の活動方針・予算案・総会アピール・役員体制が承認されました。学習では、小畑耕作さん(大成学院大学)が、「学齢期・青年期に大切にしたいこと(卒業後も豊かに生きるために)」と題して講演をおこない、参加した父母や教職員で学び合いました。

### 障害のある子どもたちのよりよい教育のために力をあわせよう

開会あいさつの中で会長の岩田美穂さんは、「4月に新たに出てきた島支援学校が開校したが、それだけでは不十分。今いる子どもたちの環境は何も改善されていない。文科省4、27通知によって、支援学級も混乱している状況。未来の子どもたちのためだけでなく、今いる子どもたちの環境もよくするためにはがんばりましょう」と訴えました。来賓の石川たえ府議会議員(日本共産党)は、「万博遠足」の問題点にふれ、「参加の意



あいさつする岩田会長

義を知事は『社会的自立参加のため』と言うが、それをいうのであれば支援学校の教育条件を改善し、より豊かな教育ができるようにすることが必要、引き続き要望していく」とあいさつしました。各地域のとりくみ・意見交流では、「通学区域割で、高等部は別の支援学校になり、子どもがしんどい思いをした」「地域に根ざした小中高のある支援学校を」「東大阪市での夏運動会がほしい」「四條畷校の本校化はみんなできりくんできた運動の成果、引き続きがんばりたい」「文科省4、27通知の問題、声をあげていきたい」など、父母や教職員の様々な思いや地域でのとりくみが語られました。

### 青年期は自分らしく生きるための土台づくりが大切



青年期に大切なことを語る小畑さん

後半の学習会では、小畑耕作さんに講演いただきました。「『青年期』とは『第2の誕生日』(ルソー)、高等部では主体性の発揮できる人間として成長をとげる大切な時期である」として、青年期にどんな力をつけたいかをわかりやすく、具体的に述べました。さらに、「青年期には自分づくりが大切、家族や仲間集団をとおしてかけがえのない自分を感じていく、自己決定・自己選択の機会を多く、学ぶ喜びをたっぷり経験すること、生きる力の土台を築く、

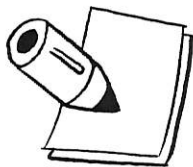
後半の学習会では、小畑耕作さんに講演いただきました。「『青年期』とは『第2の誕生日』(ルソー)、高等部では主体性の発揮できる人間として成長をとげる大切な時期である」として、青年期にどんな力をつけたいかをわかりやすく、具体的に述べました。さらに、「青年期には自分づくりが大切、家族や仲間集団をとおしてかけがえのない自分を感じていく、自己決定・自己選択の機会を多く、学ぶ喜びをたっぷり経験すること、生きる力の土台を築く、



講演に聞き入る参加者

### 参加者の感想

- 今年度、高等部卒業なので、今日のお話は心が軽くなりました。
- 専攻科の実践が想像を超えるとりくみを見せていて、生き生きと活動しながらかけがえのない自分になっていく姿が印象的でした。
- 小学部の子たちにも通じる「えらぶ」自分づくりなど、また青年期以降の生きる力、勉強になりました。



### 書記局の

ひしひし

「子どもたちには、おとなによって決定・管理されない時間を持つ権利がある」。国連子どもの権利委員会が、「子どもの権利条約」第31条「休息・余暇、遊び・レクリエーション、文化的生活・芸術への参加の権利」について解説した内容。子どもが望むのであれば、「何もしない(自由な時間)」「誰にも干渉されない時間」が、子どもの権利として保障されなければならないと読み解ける。

学校は、大人が決めた内容で組織されている。教育課程の中に、「何もしない(自由な)時間」「誰にも干渉されない時間」を設定することは難しいだろう。しかし、それが設定されたなら、子どもたちはその時間をどのように過ごすのだろうか。ルソーは著書「エミール」で、「人は子ども時代というものを知らない。(略)いつも子どもを大人に近づけることばかりに夢中になり、大人になるまでの子どもの状態がどのようなものであったかを考えようとはしない」と述べた。子どもは「小さな大人」とみなされ、子ども固有の価値観や成長の論理は認識されていなかった。これに対し、ルソーは「子ども時代」という「固有の世界」を認め、それに基づいて「教育学」を展開し、現在に続く教育の基礎をつくった。私たち大人(教師)は、「大人の価値観」に基づき、「良かれ」と考えることを子どもに押し付けがちだ。学習指導要領も「時代の要請」を具体化したもので、大人(為政者)の価値観に貫かれている。今年、「子どもの権利条約」批准30周年。「何もしない(自由な)時間」の設定を含め、今一度、子どもの権利保障の文脈で学校教育を吟味したい。

(久)

# 大障教定期大会 発言ダイジェスト(その3)

## 聴覚障害のある教職員が安心して働ける環境を

だいせん聴覚支援分会 世森代議員



聴覚障害のある教職員が安心して働ける環境を求め、

「だいせんは2年前より課別交渉で4つを要求してきま

した。「他の学校で実施して

いる公開研修や公開授業に参

加する際の手話通訳や要約筆

記などの情報保障を府の負担

で行うこと」「校内放送や災

の回答でした。ただ、今年か

した。また、電話リレーサー

務されている聴覚障害のある

## 今後の大阪の特別支援教育を注視していく

刀根山支援分会 橋岡代議員



一つ目は教職員の要求を叶

える取り組みです。分会員の

勤務労働条件等の相談にはい

つも本部の方々には誠実に対

学校においても教職員の人事

異動の要求をかなえていた

二つ目は刀根山の本校につ

いてです。今年度より本校の

児童生徒が0名になりました。昨

文科省 中教審「審議のまとめ」に関する  
意見募集(パブコメ)が開始

これでは、**深い長時間労働は解消しない!!**  
**声をあげよう!**



「審議のまとめ」は、抜本的な改善とは程遠いものです。「給特法の改正で残業代支給のしくみを」「教職員の大幅増員を」「義務標準法の改正を」「授業の持ちコマ数の上限設定を」など、たくさんのパブコメを提出しましょう!

意見の提出方法

文科省入力フォームのQRコード



または「文科省パブリックコメント」で検索し、以下順にクリック  
【「意見募集案内」→「令和の日本型学校教育」～  
→「意見募集要領」のPDF→青字のフォーム入力アドレス】



各章の内容は、  
審議のまとめ【概要】を参照ください

提出締切 6月28日(金) 23時59分

## 各々の職種の実情を知り、一致団結してともにがんばろう

事務職員部 古川代議員

私自身は、学校事務職員採用選考で採用となり学校事務職になるための試験を通過して採用されています。しかし、今配属されている若手は、基本的に府の行政職採用試験で採用されて学校配属になって

るので、学校で使っている用語がわからず相当苦労しています。

高校を卒業してすぐに、数



十数万円の業務委託や百万円の単位の工事の契約を結んだり、百人近くの教職員の給料・旅費事務を担当したりするわけです。そのような状況を知っていただき温かく見守って

れたらと思います。教職員組合として、各々の職種を取り巻く状況には注視し、実情を知り課題を発見し、そこから

一致団結して解決に向けてと

りくみをすすめたと思います。

大教組事務職員部の学校総務サービス課交渉に出席し「各種短時間勤務・休業に係る給料試算シート」の作成について要求しました。給料等にと

れだけ影響があるか算出は困難な部分があります。ただ、教員は具体的な影響を知りたい、事務は算出負担軽減策を求めています。

学校予算や施設整備の面で、事務職員も少しでも学校をよく

くしたい、現状を改善したいと思っています。そのことに職種の違いはありません。共に頑張りましょう。